

# 総合資源エネルギー調査会 基本政策分科会（第5回）議事概要

日時：平成25年9月24日（火）18:30～20:30

場所：経済産業省本館17階第1～3共用会議室

議題：電力システム改革後の電力産業の姿について

天然ガスサプライチェーンのあり方及びガスシステム改革について  
新たなエネルギー産業構造の展望について

出席者：

基本政策分科会委員

三村明夫分科会長（新日鐵住金（株）相談役）

秋元圭吾委員（（公財）地球環境産業技術研究機構システム研究グループリーダー）

柏木孝夫委員（東京工業大学特命教授）

橘川武郎委員（一橋大学大学院商学研究科教授）

崎田裕子委員（ジャーナリスト・環境カウンセラー、NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット理事長）

志賀俊之委員（日産自動車（株）代表取締役最高執行責任者）

辰巳菊子委員（（公社）日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会常任顧問）

豊田正和委員（（一財）日本エネルギー経済研究所理事長）

中上英俊委員（（株）住環境計画研究所代表取締役会長）

松村敏弘委員（東京大学社会科学研究所教授）

山名元委員（京都大学原子炉実験所教授）

経済産業省

上田資源エネルギー庁長官、後藤大臣官房審議官、木村省エネルギー・新エネルギー一部長、高橋電力・ガス事業部長、飯田総合政策課長

内閣府

豊田大臣官房審議官

外務省

五嶋経済局審議官

文科省

篠崎環境エネルギー課長

農水省

信夫農林水産省再生可能エネルギーグループ長

欠席者：

基本政策分科会委員

植田和弘委員（京都大学大学院経済学研究科教授・研究科長）

寺島実郎委員（（一財）日本総合研究所理事長）

西川一誠委員（福井県知事）

増田寛也委員（東京大学公共政策大学院客員教授、野村総合研究所顧問）

## 総合資源エネルギー調査会基本政策分科会第5回会合（9/24（火））概要

1. 電力システム改革後の電力産業の姿、天然ガスサプライチェーンのあり方及びガスシステム改革、新たなエネルギー産業構造の展望について議論。

2. 委員からの主な意見は以下の通り。

（電力システム改革後の電力産業の姿に関する主な議論）

- 電力システム改革では、安定供給や資金調達環境等に懸念があり、詳細設計では、その対応策をしっかりと検討していくべき。
- 電力システムは各時代の技術水準と動向に合わせて改革を進めるべきで、電力会社の地域独占や総括原価方式といった従来の制度は現代において合理性を失っており、大規模電源に極端に偏った体制を是正するために速やかに電力システム改革を進めていくべき。

（天然ガスサプライチェーンのあり方及びガスシステム改革に関する主な議論）

- 天然ガスのエネルギー需給構造における位置付けを考える上で、需要の見通しが必要ではないか。
- ガスタービンの発電効率が最も高いことは間違いなく、コンバインドサイクルの優位は変わらない。ガスの利用用途の拡大も進展していき、ガスシフトは確実に進むので、ガスシフトは基本計画で明記すべきであり、ガスシステム改革と合わせて取り組むべき。
- ガス空調など電力に代替できる製品が増え、家庭内のエネルギーミックスを検討していくことが必要。電力システム改革と一体で考えられるようになってきている中、ガス改革を進めて総合的にエネルギー利用を考えられるようにすべき。

（新たなエネルギー産業構造の展望に関する主な議論）

- 大きな企業を作り出すことより、強い企業を作り出すことを検討していくべき。
- エネルギー分野横断的な総合エネルギー企業を作り出すためには、資源エネルギー庁の縦割りの組織体制も変わっていく必要があるのではないか。
- 企業競争力や経済性の観点のみならず、エネルギーの観点からもエネルギー産業構造のあり方を考えていくべきであり、そのために鉄道や都市計画といった国土計画等ともリンクさせながら検討する必要がある。

（以上）